

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 86 : 熊本県宇城市(旧豊野町) (人口: 60, 226人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

受入主体の豊野町:

- ① JR鹿兒島本線 松橋駅 ⇒ 徒歩5分 ⇒ 九州産交(株)松橋営業所 ⇒ 「砥用行」乗車 ⇒ バス停「南山崎」OR バス停「糸石」下車 ⇒ 徒歩10分程度  
 ② 阿蘇くまもと空港⇒各種バス⇒高速バス停「益城インター口」⇒高速バス停「松橋インター」 ⇒ バス停「大鳥」乗車 ⇒ バス停「南山崎」OR バス停「糸石」下車 ⇒徒歩10分程度

### (2) 事業実施の目的等

1. 受入団体の「うきのわ」は熊本地震からの復興支援センターの役割も行っており、仮設住宅の支援や解体住宅の清掃支援などにも取り組んでおり、全国の学生にも復興の現場で地域住民と共に活動する経験・人と人との繋がりを構築する。(復興支援の現場体験)
2. 若者に生活の場として地方を認識する機会を用意する。(移住者支援の現場体験)
3. 事業への参加を契機とした今後の地域の活性化を図っていく。

### (3) 体験の内容

- ・復興支援の現場(仮設住宅茶話会、解体住宅の清掃支援等)での活動
- ・移住者と地元住民や子どもたちとの交流イベントへのスタッフ参加  
(タケノコ掘り体験、ソーメン流し・竹箸作り体験、餅つき・ミニ門松作り体験)
- ・既存移住者や受入側の地元住民双方からの移住談義

### (4) 受入主体

### (5) 受入期間

地域づくり団体「うきのわ」	①復興支援関係(随時) ②移住者支援: 3月~4月: タケノコ掘りイベント ③移住者支援: 7月~8月: ソーメン流し、竹箸作りイベント ④移住者支援: 12月: 餅つき体験、ミニ門松作り体験イベント
---------------	---

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 原則無料(布団レンタル代金が必要となる場合があります。) 食事代: 自己負担(料理体験等の費用。)
①要件	地域住民・移住者・子どもたちと一緒に元気に活動し、語り合える人
②応募締切り	①随時 ②~④: ひと月前を目安
③宿泊施設	熊本県宇城市豊野町「光照寺」(寺泊になります)
④食事形態	地元住民と一緒に、地域の伝統料理等を体験し、自炊
⑤その他	

### (7) 地域担当者から一言

「うきのわ(宇城の“輪”)」は、東日本大震災後移住者して来た人を支援したいと、地元住民が中心となり平成25年2月に発足した団体です。移住者の今までの生活や移住経緯が、田舎住民には理解できず、移住者同士で孤立するケースもあり得るため、「うきのわ」は地域住民と移住者の交流を通じ、第2の故郷として地元で根付いてもらう活動を続けて来ました。毎年、子どもたちと地元の名産「竹」をテーマにした取組を年間通じて実施し、最近では市内のALTの先生や海外からの留学生等も呼んでの国際交流体験も一緒に行っています。熊本地震後は、復興支援センターの活動も行い、仮設住宅等で様々な活動もされています。これを機会に、熊本地震からの復興に向け、全国の皆さまと一体となった繋がりを構築していければ幸いです。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市(うきし)	担当部署 企画部 まちづくり観光課
(ふりがな) みやはら いたる 担当者氏名 宮原 至	TEL: 0964-32-1906 (直通) FAX: 0964-32-2222
E-mail: machizukurikankoka@city.uki.kumamoto.jp ※件名に「若者の地方体験交流」と記載ください	
URL: <a href="http://www.city.uki.kumamoto.jp/">http://www.city.uki.kumamoto.jp/</a> (宇城市役所) <a href="https://ja-jp.facebook.com/Ukiakari">https://ja-jp.facebook.com/Ukiakari</a> (うきあかり)	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 まちづくり観光課	